

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 地域包括と連携し、地域より傾聴ボランティアの幹 旋に向け取り組む。	①傾聴ボランティアの導入。 ②ホームにおける活動内容の検討と実施によ り定期的な訪問に繋げる。 ③運営推進会議への出席。	①傾聴ボランティアを地域包括と連携し、ホーム で事前会議を行う。 ②活動の趣旨と理解のもとに、ボランティアの 方々の体調等も考慮して、ホーム内での活動、安 全に配慮した統一散歩コースでの散歩付き添い の実施。 ③定期的な会議出席による活動報告と意見交 換。	①12ヶ月 ②12ヶ月 ③12ヶ月
2	3	○事業所と地域とのつきあい 今年度、校区民生委員6名の交替があり、勉強会 の実施等による認知症の理解を図ることで協力体 制を強化する。また地区サロンをホームで実施し 交流を図ることで認知症の理解を深める。	①包括と連携し、ホームに民生委員を招き、認 知症についての勉強会を実施。 ②地域と楽しみ支援を相互協力体制。  ③地域サロン向けの認知症についての勉強会 の実施。	①新しく民生委員を委託された方々を中心に、認 知症の理解と勉強会をホーム内で実施。 ②サロンで採る組まれている物造りをホームで民 生委員へ協力を仰ぎながら実施し、楽しみの提供 を図っていく。 また、ボランティアの情報収集により、楽しみ支援 に繋げていく。ホームからサロンで出向き、日頃よ り実施しているレクリエーション等の楽しむ支援の 協力を行っていく。ホームでサロン開催するなど、 相互交流を図ることでホームの内容や認知症の 理解を深める機会を肌で感じていただく。 ③区長・民生委員と連携し、地域サロン向けの認 知症について勉強会を計画し実施へと繋げ、理解 を深めていく。	①12ヶ月 ②12ヶ月 ③12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。